

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)(案)

平成30年1月15日

協議会名: 胎内市地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
株式会社中条タクシー	区域運行(中条築地)	全戸配布用のパンフレットに加え、新たにポスター(A3版)を作成し市内の主要施設や高等学校への掲出を行った。 また、イベント開催時におけるSNSでの利用促進や観光協会ホームページへのバナー設置による観光利用の促進を行った。	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	平均利用者数は、目標とした150人を上回る152.05人を記録した。 また、平成25年4月1日から開始した日曜日・祝日の運行も、1日平均64.36人の利用があった。 昨年度の平均利用者数156.54人(日・祝57.68人)と比べると年間平均利用者数は減少しているものの、日曜日・祝日運行の平均利用者は増加傾向にあるため、情報発信により、通院・通所・買い物以外にも徐々に活用されてきているといえる。
株式会社中条タクシー	区域運行(乙)		A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	
株式会社中条タクシー	区域運行(黒川)		A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	
藤観光タクシー株式会社	区域運行(乙)		A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	

市民にはある程度定着し、通常利用以外にも徐々に利用されてきているが、市外来訪者や観光における利用の促進は当面の課題であるため、引き続き積極的な情報発信を行っていく。

また、平成29年9月末で市内を運行する路線バスが廃止となったことから、鉄道との接続性を含めた中で学生の通学や市外来訪者が利用しやすい運行方法を検討していく。

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について(案)

平成30年1月15日

協議会名:	胎内市地域公共交通協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>胎内市は、新潟県の北東部に位置し、東に飯豊連峰、西に日本海を望む。市域面積は264.89km<sup>2</sup>、人口は29,815人(平成29年11月末現在)であるが、近年は人口減少・高齢化が顕著となっている。</p> <p>市内の商業施設、医療機関、公共施設等が中心部に集中する一方、市域を運行する公共交通は隣接市に接続する路線バス1系統(平成29年9月末廃止)とJR羽越本線しかなく、市民の生活交通の確保が必要不可欠となっている。そのため、ドアtoドア運行によるデマンド交通を導入することで、既存の公共交通の空白地帯を補完し、利便性・効率性の高い生活交通ネットワークの構築を進めているところである。</p>

